

IP67 取得のフォナック補聴器に於ける防水・防塵に関するご注意

本製品は国際保護等級 IP67 に準拠し、防塵防水機能を備えていますが、完全な防水型ではありません。次の点に注意して取り扱ってください。注意を守らずに本製品が故障した場合は、保証期間内でも保証対象外になりますので、あらかじめご了承ください。

- ◆ 本機の防水性能は、常温（5℃～35℃）の真水・水道水を想定して設計されています。故意に水につけたり、砂や泥などにつけたりすることは極力避けてください。
- ◆ 本機は電池ホルダーをきちんと閉じた状態で防水性能を保ちます。
- ◆ 電池ホルダー内に水が入ると故障の原因になることがあります。電池ホルダーを開ける際には、補聴器表面に水滴が付いていないことを確認してから開けてください。
- ◆ 万一水以外（海水／洗剤／砂／泥など）が付着してしまった場合、直ちに水で洗い流してください。やや弱めの水流（6 リットル／分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーより約 10cm 離れた位置で洗えます。電池ホルダーをしっかり閉めた状態で、イヤフックもしくはスリムチューブ α の先端を指で押さえて、そこから水が浸入し内容に注意し、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- ◆ 水で濡れたあとは、電池ホルダーのヒンジ部などの隙間から水分が入り込んでいる場合がありますので、水抜きをしっかりと乾いた清潔な布で、補聴器の水滴を拭き取ってください。水滴が付着したまま放置しないでください。
- ◆ 長時間、水中に浸した状態で補聴器を使用しないでください。
- ◆ 強い水流（6 リットル／分を超える）や高い水圧を直接かけたり、水面に落下させたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- ◆ お風呂場など、湿気が多い場所には長時間放置しないでください。
- ◆ 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒いところから暖かいお風呂場などに補聴器を持ち込むときは、補聴器が常温になってから持ち込んでください。
- ◆ サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- ◆ 電池ホルダーと本体の間に、髪の毛などが挟まると、電池ホルダー内に水滴が入り込むおそれがあり、故障の原因になる可能性があります。電池ホルダーを閉める際にはご注意ください。
- ◆ 防水性能を維持するため、ゴムパッキンは異常の有無に関わらず、1 年ごとにメンテナンスことをお勧めします。
- ◆ 落下させるなど、本体に強い衝撃を与えたり、マイク、レシーバ、とがったものでつつかないでください。防水性能が損なわれる場合があります。
- ◆ 補聴器が濡れている状態では絶対に電池を交換しないでください。
- ◆ 車のダッシュボードの上や冷蔵庫の中など極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- ◆ マイク、レシーバの穴に表面に水が入ったり、電池ホルダーの空気取り入れ口に水が付着してしまった場合、一時的に音量が小さくなったり、動作が止まることがあります。十分に水滴をふき取り乾燥を行った後にご使用ください。
- ◆ 直接本体に当たるような強い雨の中では使用しないでください。
- ◆ 電池ホルダーに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。「フォナック補聴器取扱店」までご連絡ください。